

府障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7 11
府教育会館704号
(TEL)6765-8904
(FAX)6765-8905

選挙に行つて政治を変えよう

5月19日、「戦争法(安保法制)の廃止を求める統一署名」200万人統一署名(呼びかけ)を呼びかけた29団体は、衆議院第1議員会館で署名提出集会を開きました。会場には、これまでに集まった1200万人の署名が積み上げられ、民進党・日本共産党・社民党・生活の党の4野党の代表と国会議員に署名の束が手渡されました。集会には100人を超える市民と国会議員数十人が参加し、「戦争法は必ず廃止」「選挙に行つて政治を変えよう」と、手をつないでコールしました。

「戦争法の廃止を求める統一署名」 1200万筆突破



積み上げられた戦争法(安保法制)の廃止を求める統一署名

従来の立場の違いを超えて

29団体を代表してあいさつした福山真劫さん(戦争させない。9条壊すな！総がかり行動実行委員会)は、「この署名のとりくみについて、従来の立場の違いを超えてたたかってきた」と強調しました。その上で、集まった1200万の署名は、一人ひとりの平和への願いが込められていると述べ、7月の国政選挙へ向け、私たちのスローガンは、野党は共闘、選挙に行こう、政治を変えよう、だと訴えました。

署名を受け取った野党各党からは、「心一つにして頑張りぬきたい」と党首が連帯のあいさつを行いました。集会では行動提起が行われ、「明日を決めるのは私たち、政治を変えよう!6・5全国総がかり行動」を全国でとりくむことが呼びかけられました。大阪では、6月5日(日)午後4時30分~5時30分に梅田ヨドバシカメラ周辺において、4野党スリーチ・宣伝行動がとりくまれます。

府障教では、今年1月より引き続き統一署名への協力をお願いします。

府障教ホームページアドレス <http://www1a.biglobe.ne.jp/fushou/>

Eメール アドレス : fushoukyou_1@mtb.biglobe.ne.jp

福祉が削られ、防衛費の増大を危惧

大することを危惧して署名に力を入れてきた」と述べ、点字署名が1545人に達したと紹介しました。



谷山博史さん(NG 非戦ネット)は、「紛争地では駆けつけ警護の武器使用にしろ、他国への後方支援にしろ、武力行使に他ならない。自衛隊は攻撃し、住民をも巻き込んだ紛争の当事者になる。NGにも危険が及ぶ。日本は平和憲法を生かして、武力によらない独自の平和貢献ができる国であることをこの署名で重く受け止めてほしい」と述べました。

提出集会では、呼びかけ団体から様々なとりくみが報告されました。田中章治さん(全日本視覚障害者協議会)は、「障害者は戦時中迫害を受けて『くつがし』と言われてきた。福祉が削られ、防衛費が増

広渡清吾さん(安全保障関連法に反対する学者の会)は、「安倍政権を打倒して新しい政権を作るチャンスだ。その基礎が2000万人統一署名、新しい日本へ次のステップをつくりたい」と語りました。

引き続き統一署名への協力を

この統一署名にとりくみ多くの教職員皆さんのご協力で、これまでに1204名分を集約しています(5月31日現在)。大阪の到達数は、166万人を超えました(5月31日現在)。次の国会提出に間に合うよう、分会でお持ちの署名がありましたら、6月15日までに府障教本部にお届けください。目標の2000万人到達まで、引き続き統一署名への協力をぜひお願いします。



今回の改定は、法律に3年後の見直しが入るが、その見直し案でさえ、障害者の願いに反していました。例えば、65歳を迎えた障害者が、半ば強制的に介護保険に移行させられる「介護優先原則」を固定化している点です。介護保険が適用されれば、障害者はそれまで無料だった利用料の一部自己負担にされ、受けられるサービスも切り下げられ、大きな問題になっています。グループホームなどを退所して、1人暮らしを始めた障害者への、自立生活援助「サービス新設や、入院時にも利用できる、重度訪問介護」などが盛り込まれたものの対象者や利用期間が限定され、きわめて不十分です。何よりも、総合支援法改定の議論を通じて、障害者・家族に「自助・共助」を求め、給付と利用の抑制の方向が示されたことは重大です。障害者福祉に限らず、医療・介護の改悪を許さない世論をさらに広げることが急がれます。

新しい仲間を迎え、各分会での趣向を凝らした新歓のとりくみ (その5)

お互いの生き生きとした姿に触れるひと時 新歓バーベキュー だいせん聴覚高等支援学校分会

「今年もやりますか?」との声が3月頃からちらほら聞こえ始めました。もちろんやりましよう!との一言で、今年も新歓バーベキューの開催をすることができました。場所はだいせん聴覚高等支援学校から徒歩15分、その名も大仙公園バーベキューエリア。4月どの土曜日にしようかと迷いましたが、第三土曜日の16日に実施しました。

運よく暑いぐらいの好天に恵まれ、新しく来られた方4名、可愛い子どもたち3名を含め、23名の参加で楽しいひと時を過ごすことができました。ダンス、歌などの本格的な特技も十分に披露され、文化の発展への期待と希望もわきました。昨年、バーベキュー準備の中心になってくださった方のうち、何人かがクラブ活動の試合で参加することができなかったのが残念でしたが、新しい方々の協力を得て、買い出し、調理、炭火調整、司会と楽しくスムーズに



新歓バーベキューに参加した皆さん

進みました。昨年、初めて新歓バーベキューにとりくむまでは、「日々の仕事だけでも大変なのに休みの日にまで...」との空気を気にする声もありました。しかし、実際にやってみると仕事を通じての付き合いだけでは知ることのできない、お互いの生き生きとした姿に触れるかけがえのない時間にくきたことを実感しています。

府障教定期大会 発言ダイジェストその1)

すべての教職員に

加入届を配布

枚方支援学校分会 佐々木代議員

多くの人の願いがかなって開校した枚方支援学校は、開校2年目を迎えました。すでにHR教室が足りませんが、全校児童生徒数は府の想定をはるかに上回り、352人に

なりました。特別教室をHR教室に転用し、小学部、中学部では圧縮クラスもできています。体育館や美術室、調理室などの特別教室は、併設しているむらの高等支援学校と共用のため、子どもたちの活動が制限されることが多くなっています。また、新校でありながら1年目から扉があかなくなったり、排水管から水漏れ

したりするトラブルがあまりありますが、本部交渉で訴えた結果、果床の改修工事が行われ、扉も改修されました。

職員会議では、ベテランだけでなく、若い人も発言するようになり、キャリア教育が重視される中、教育とは何か、常に考える青年教職員の姿に感銘を覚えます。分会の果たす役割、良い教育を

追及する姿勢を青年教職員に伝えていく重要性を感じました。今年の夏も、ベテランから青年へ思いをつなぐ教研を北河内の5分会合同で行います。今年度最初の分会集会で、転動されてきたベテランの先生が、長く働く3つのコツとして、休憩時間をしっかりとる、定時に帰ることをめざすこと、分会集会で語り合う、相談にのってもらうことだと発言されました。働きやすい職場にするために、がんばりたいと思います。今年度は、4月1日にすべての教職員に府障教への加入届を配りました。その結果、4月中に3人の方が組合に加入してくれました。これからも、一つひとつの対話を大事にしていきたいと思います。

先輩に聞こう! Vol.5

初任から3年目くらいまでの頃、悩んでいたことや楽しかったことなど、印象に残っていることを教えてください。榊原知子 (交野支援学校分会) 4年目

私は大学卒業後、絵描きとして生きていこうとしていました。絵が売れる訳ではないので、学校で講師としてお金を稼いでいたのです。しかし、絵描きの世界とは縁を切りました。絵は大好きですし、描き続けていますが、絵描きの世界は、誰が上で誰が下で、そこにお金が絡んでくるものですから、まあ、うんざりしてしまっただけです。

その時に「森先生!」と慕ってくれる子どもたちも中にはいました。教師として生きていくのは必然であったように思います。そして、絵描きの世界とは縁を切ったものですから、「教師」の楽しいところ、やりがいのあるところを探す事も反面必要であったように思います。探せばいくらでもあります。スポーツ好きの先生達とスポーツ三昧の日々、酒好きの先生達と居酒屋三昧の日々。

でも、一番の楽しみは教える楽しさです。「できない」を「できた!」や、「わからん」を「わかった!」や「あー面白かった!」などと言わせる楽しさは何とも言えません。その楽しさを味わえたのは支援学校に来てからです。そういう話を共有できる先生たちは組合で活動している先生たちがほとんどでした。組合活動もそういう始まりがありました。さて、答えになったかな。

(森 訓 堺聴覚支援学校分会 37年目)

